

# サイジヤナル

月刊  
1-7-8  
第446号

日本サイ科学会 令和1年7月1日発行

本部 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 郵便振替 00100-2-15344 日本サイ科学会  
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

<b>東 北</b> 〒981-0904 仙台市青葉区 旭ヶ丘1-36-1 アサビル201号 佐佐木 康 二 ☎ 022 (279) 0908-FAX 022 (274) 0097	<b>中 部</b> 〒455-0053 名古屋市港区 名四町113 眞 野 博 英 ☎ 090-9196-2963	<b>北 陸</b> 〒920-0031 金沢市広岡2-7-25 プレミスト金沢駅西口1 804号 佐 藤 禎 花 ☎ 076 (234) 6634	<b>関 西</b> 〒545-0034 大阪市阿倍野区 阿倍野元町1-2 和 田 高 幸 ☎ 06 (6624) 0509-FAX 06 (6624) 5061	<b>九 州</b> 〒851-2122 長崎県西彼杵郡 長与町本川内16-6 森 安 政 仁 ☎ 095 (883) 6048-FAX 095 (883) 6159
--	--	--	---	---

## 七月本部例会のお知らせ

不思議体験談、写真映像発表・討論会(発表者募集中)

日時 令和元年7月21日(日)

午後1時30分～4時30分

会場 北とびあ7階第1研修室

交通 JR京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費 一千元(会員・一般とも)

皆様がこれまでに体験した不思議な現象や不思議な写真・映像を参加者の皆様に紹介しながら、参加者全員で解釈や討論をして、共有する会です。

UFOと宇宙人、オーブや心霊写真、地震雲など地震前兆現象、それらに関わる動画等、是非日本サイ科学会事務局に事前に「プリント写真」あるいはUSBメモリの郵送、あるいはメール添付ファイルで送信いただければ、有り難いです。(送られたものは返却できませんので、コピーをお願い致します。)

スプーン曲げ等の念力、透視能力・予知能力などサイ能力に自信のある方、または友人、知人に能力者のいる方は是非お連れしてください。

特別講師はおりませんが、参加者の皆様の自由な発言でいつも楽しい会になりますし、終了後の懇親会も面白い話題で盛り上がります。

参加費は、会員、一般とも千円です。ので、気楽にご参加願います。

「心を科学する博物館」と

一般の御寄付御礼  
(6/9受領分まで)

金五千円也 佐藤 禎花 様

九月本部例会のお知らせ

脳波とバンアレン帯との  
共鳴について

講師 志賀 一雅氏

## 今月号の記事

- ◎ 七月本部例会のお知らせ
- ◎ 御寄付御礼
- ◎ 九月本部例会のお知らせ
- ◎ 第28回全国大会会員発表者募集会のお知らせ
- ◎ 関西サイ科学会七月、九月研究会のお知らせ
- ◎ 中部サイ科学会九月研究会のお知らせ
- ◎ 第37回宇宙生命研究分科会のお知らせ
- ◎ 令和元年度通常総会報告
- ◎ 平成30年7月本部例会の報告 I
- ◎ 第四三六回関西サイ科学会報告
- ◎ 「オーブ(たまゆら)」研究の意味合い
- ◎ ひらめきの感受性について

東大工学部の南雲モデルによりますと、シミュレーションで知的活動や運動機能を発揮しているときの脳波は10 Hzのアルファ波に収斂することが予想され、実際に能力者が能力を発揮しているときの脳波を計測すると、確かに10 Hzのアルファ波が優勢でありました。中でも超越的な能力を発揮しているときの脳波には、10 Hzに加えて7・8 Hzや12・6 Hzが強く観察

され、いずれもアルファ波の領域でもあります。

これらは、バンアレン帯のプラズマ振動の周波数と一致していることから、空間エネルギーや空間の揺らぎ情報を共鳴吸収している可能性が大きいと考えられます。臨床脳波でのアルファ波はリタックスの脳波であり、脳はあまり活動をしていないとする見解には合いませんが、前回(2018年10月)に引き続き、新たな測定事実を紹介して皆さんと論議したいと思っています。

※志賀一雅氏はご自分で開発された脳波測定器で永年、多くのスポーツ選手、芸術家、瞑想家、能力者の脳波測定をされ、その独自の分析により、多くの発見をされ、論文も書かれております。また多くの有名な企業のスポーツチームのメンタルトレーニングにも貢献されております。気さくでお話も大変分りやすい先生です。ので、会員の皆様はご友人、知人をお誘いして是非ご参加ください。

◎志賀一雅氏プロフィール  
1961年電気通信大学卒業し

松下電器に入社。東京大学工学部係数工学科南雲研究室に、出向し、医学ではない工学の立場で脳波を研究。

1983年株式会社脳力開発研究所設立。PCによる脳波分析法を開発し大学や企業の研究所に提供。長年の脳波研究に対し2000年日本文化振興会より社会文化功労賞と菊華勲章受賞。2011年オバマ大統領諮問機関よりGold Award(金賞)受賞。

現在、脳力開発研究所相談役、日本サイ科学会理事、日本医療催眠学会顧問。

◇ ◆ ◆  
※8月の本部例会は休会となりま  
す。また7月は宇宙生命研究分  
科会が開催されます。

◆ ◆ ◆  
**2019年日本サイ科学会  
第28回全国大会発表募集**

◆ ◆ ◆  
毎年の重要な行事である全国大会が、今年も10月14日(月・祝日)

に北とびあ第1研修室に於いて開催されます。会員の研究発表+シンポジウム(テーマ:ヒーリング&セラピー)が予定されておりますが、会員の皆様には積極的な発表ご参加を期待しております。

会員の研究発表では、シンポジウムのテーマに関してでも、そうでなくてもOKであり、これまでの研究での新しい発見、現在もしくは近いうちにデータ取りをしてまとめたいこと、偶発現象(UFO、心霊現象等)の目撃と原因の推測・解明、様々なサイ現象の仮説(理論)など「サイ」に関連することなら何でも結構です。ご自分の考えや研究成果をまとめて、発表して頂きたいと存じます。

7月末までにタイトルと簡単な内容(200字くらい)をメール、またはFAX、ハガキでお送りいただき、一応審査させていただきます。通りましたら8月31日までに原稿ファイルをメール添付等で戴きたいと思えます。原稿の書式は後でお知らせ致します。

※全国大会での発表はできないが、論文集「サイ科学」の資料として、発表したい原稿も募集致します。

◆ ◆ ◆  
論文集「サイ科学2018」末頁の「サイ科学の投稿審査規定」をよく読んで、応募願います。

◆ ◆ ◆  
**関西日本サイ科学会  
七月研究集会のお知らせ**

孝明天皇は切紙神示で太平洋戦争を予言した、誰も知らない幕末維新の真実と出口王仁三郎

講師 出口 恒氏

日時 令和元年7月20日(土)  
午後1時15分~5時

会場 阿倍野市民学習センター  
第一研修室  
交通 地下鉄谷町線「阿倍野駅」  
7号出口よりあべのベルタ  
地下2階通路を通りエスカ  
レーターで3階へ

◆ ◆ ◆  
会費 会員及び同伴の家族二千円  
一般三千円(初回参加者二千円)  
学生一千円  
問合せ072・445・7737

関西日本サイ科学会  
九月研究集会のお知らせ

実験からみたUFO現象

講師 加藤 純一氏

日時 令和元年9月21日(土)  
午後1時15分～5時

会場 阿倍野市民学習センター  
第一研修室

交通 地下鉄谷町線「阿倍野駅」  
7号出口よりあべのベルタ  
地下2階通路を通りエスカ  
レーターで3階へ

会費 会員及び同伴の家族 二千元  
一般 三千元(初回参加者 二千元)  
学生 一千元  
問合せ 072・445・7737

中部日本サイ科学会  
九月研究集会のお知らせ

会員数名の研究・体験発表

日時 令和元年9月14日(土)  
午後1時～5時

会場 博愛癒院(ゆういん)

名古屋市港区名四町113

交通 地下鉄名港線港区役所駅下  
車から徒歩15分

会費 一〇〇〇円(会員・一般)

※会員以外の方の参加も大歓迎  
問合せ 080・16587398

第37回宇宙生命研究分科会

第13回UFO・オーブシンポ  
ジウム

テーマ「令和と宇宙交信」

日時 令和元年7月14日(日)  
午前10時～午後4時

会場 北沢タウンホール第一集会所  
(世田谷区北沢2・8・18)

交通 小田急線・京王井の頭線  
下北沢駅北口徒歩5分

小田急バス北沢タウンホ  
ル系統 下61(駒沢陸橋一  
北沢タウンホール)終点

会費 会員 1000円(日本サイ  
科学会・サトルエネルギー学会  
一般 2000円)

六月通常総会報告

日本サイ科学会

会長 浪平 博人

◎平成30年度本部事業報告

1. 会員の現状  
(令和元年5月末現在)

名誉会員	1名
維持会員	3名
正会員	160名
学生会員	19名
準会員	56名
合計	239名

2. 講演会、研究集会

本部は10月の「第27回全国大会」  
を含み、計14回の例会・分科会を  
開催した。

◎本部例会・大会(敬称略)

平成30年

4月15日(日)七沢智樹、杉山彰  
「ログストロンシステムが拓く  
未来」

6月17日(日)由井寅子「体・心・  
魂を三位一体で治癒に導く 未来  
の医学「ZENホメオパシー」」

7月21日(土)清水浦安、愛宕なみ  
「天界に帰還した中村天風先生が  
今の日本人に伝えたいこと」

9月8日(土)秋山真人「40年余の  
宇宙文明コンタクトから判って  
きたこと、異星人と意識」

10月8日(月・祝)第27回全国大会  
「シンポジウム テーマ・水と  
健康」

12月15日(土)忘年会も兼ねた会員  
の体験意見発表と討論の会

平成31年  
2月2日(土)東中川徹「エビジェ  
ネティクスとは何か?」

◎分科会

●宇宙生命研究分科会  
(世話役 阿久津淳)

平成30年

7月16日(月・祝)第34回「第12回  
UFO・オーブシンポジウム」  
12月23日(日)第35回「第6回異能  
科学会議」

平成31年

3月31日(日)第36回「第1回ソクラテスシンポジウム」

●スピリチュアル研究分科会

(世話役 小林 信正)

平成30年

5月13日(日)第7回スピリチュアル研究分科会

11月3日(土)第8回スピリチュアル研究分科会

●占星学と運命創造学の研究分科会 (世話役 瀬尾 泰範)

平成30年

8月4日(土)第3回占星学と運命創造学の研究分科会

平成31年

1月19日(土)第4回占星学と運命創造学の研究分科会

3. 通常総会

平成30年6月17日 北とびあ

701会議室で開催

4. 全国理事会・評議員会

平成30年6月17日 北とびあ

701会議室で開催

5. 本部理事会(第211回)第215回)を4月、7月、9月、

12月、2月と5回開催した。

6. 出版物

「サイ科学」第40巻第1号を発行した。

「サイジャーナル」第439号から第444号までを発行した。

◎令和元年度本部事業計画

・10月14日(月・祝)に第28回全国大会(シンポジウム テーマ「ヒーリング&セラピー」)を開催する。

・本部例会を6回(4、6、7、9、12、2月)開催する。

・宇宙生命研究分科会を3回(7、12、3月)開催する。

・スピリチュアル研究分科会を2回(5、11月)開催する。

・占星学と運命創造学の研究分科会を1回(1月)開催する。

・本部理事会を5回(4、7、9、12、2月)開催する。

・全国理事会評議員会、通常総会を1回(6月)開催する。

・サイジャーナルを6回発行する。

・論文集「サイ科学」を発行する。

・公式サイトを運営する。

・「心を科学する博物館 サイ科学遺産」の資料を整備する。

◎活動方針として

・刊行物に種々の分野の解説・応用や新鮮な情報を増やす。

・会の活性化を図るため、例会等でアンケートを実施、活用する。

・謎、不可思議と思えるミステリー写真や映像などを募集し、展示発表する。

・体験型やセミナー(ワークショップ型)の例会を開催する。

・インターネットの公式サイトやメルマガリストを活用する。

・雑誌等の告知欄やメールマガジンに行事の予告を載せていく。

・地方日本サイ科学会との連携を深める。

・地方からも講師を招く。

・理事や若手の幹事(理事候補)、評議員を増やす。

・その他

◎地方日本サイ科学会

東北日本サイ科学会

会長 佐佐木 康二

◎平成30年度事業報告(敬称略)

平成30年

4月14日 第218回研究会総会

\*平成29年度事業報告、平成30年度事業計画

\*「意外とよくある(低級)憑依その解決法」佐佐木 康二

6月9日 第219回研究会

\*「自己愛と無私の愛は相克していなかった!」佐佐木 康二

8月11日 第220回研究会

\*「重力も愛だった!重力制御による真の能力発揮法」佐佐木 康二

10月13日 第221回研究会

\*「宇宙は意図だ『円滑現象』の秘密」佐佐木 康二

12月8日 第222回研究会

\*「アクシオン場のもとでの不思議現象」佐佐木 康二

平成31年

2月9日 第223回研究会

\*「悟り体験も脳外体験だった!」佐佐木 康二

◎令和元年度事業計画

東北日本サイ科学会は、創始者岡田幸千生が掲げた目的、「聖人及び超能力者の先人たちを出来るだけ深く探求して、誰でも本来的に持っているはずの超能力を万人に成長させて人類の活動能力を本質的に高めること」を今後も目指し、次の事業を行う。

1. 定例研究会の開催

定例研究会を偶数月第2土曜日  
に開催する。先人や研究者の成果  
を学び、また各人の知恵と知識を  
持ち寄る。サイ科学関係の著名人  
の講演会等は計画としては準備せ  
ず、機会がある折りに考慮する。  
2. 「東北日本サイ科学会研究抄録」  
の編集

3. 長期研究テーマの推進

サイ現象の観測量化、気・意識  
の種類の見分け方、「念写」写真・  
「オーブ」画像等の分析・検証、  
意識純化・宇宙意識への目覚め、  
地震予知、数秘術・秘数の科学性  
の研究、フリー・エネルギー装置  
の研究、過去世・霊性・霊能の研  
究、食とサイ能力の関係の研究  
4. 講演会等の開催

「念写実験」等のテーマで8月  
に実験会を開催する

5. 会推進スタッフの充実、本部  
会員・会員の勧誘

6. 「岡田文庫」(福来心理学研究  
所との共同事業)及びビデオ資料  
等の閲覧サービス・管理

中部日本サイ科学会

会長 眞野博英

◎平成30年度事業報告

研究集会Ⅰ

日程 平成30年9月8日(土)

会員数名の研究・体験発表

会場 博愛癒院

研究集会Ⅱ

日程 平成30年3月23日(土)

会員数名の研究・体験発表

会場 博愛癒院

◎令和元年度事業計画

研究集会Ⅰ

日程 令和元年9月14日(土)

会員数名の研究・体験発表

会場 博愛癒院

研究集会Ⅱ

日程 令和2年3月14日(土)

会員数名の研究・体験発表

会場 博愛癒院

北陸日本サイ科学会

会長 佐藤禎花

◎平成30年度事業報告(敬称略)

平成30年8月26日(日)

テーマ「月と水と生命誕生」

講師 佐藤 禎花

(日本サイ科学会理事、北陸日本  
サイ科学会会長)

◎令和元年度事業計画

令和元年5月5日(日)

テーマ「生命の循環とニュート  
リノ 素粒子の世界」

講師 佐藤 禎花

(日本サイ科学会理事、北陸日本  
サイ科学会会長)

◎次回計画中

関西日本サイ科学会

会長 和田 高幸

◎平成30年度事業報告(敬称略)

平成30年度は8月、12月を除き、  
30年4月(427回)から31年3  
月(436回)の10回開催した。

参加者は会員124名、非会員  
145名、計269名であった。

平成30年

4月21日 河原優子・藤野浩司「霊  
的エネルギーを感じてみよう」

5月19日 木村陽一「音楽を楽し  
むとは」音響工学者として、  
そして演奏家として」

6月16日 徳永康夫「靈活のすす  
め」

7月21日 坂井洋一「ワクワク古  
代史セミナー」

9月15日 高岸弘「残像メンタル  
トレーニング」

10月20日 高峯秀樹「手相と意識」

11月17日 橋本和哉「神仏セラピ  
ー」

12月1日 2018年年末放談会

平成31年

1月19日 坂井洋一「旧約聖書の  
出エジプトに秘められたる真実」

2月16日 金子栄子「人生の航海  
図 インド占星術で見えること」

3月16日 Dr・アマナ「量子世  
界のもとと奥【内なる根源】へ  
のアプローチ 古代の叡智『カタ  
カムナ』と縄文遺物が示す『創  
造の根本原理』とその活用」

◎令和元年度事業計画(敬称略)

令和元年度は次のように8月、  
12月を除き、平成31年4月(437  
回)から令和2年3月(446回)  
の10回開催する予定である。

平成31年

4月20日 伊藤一夫「目に見えて  
変化するこの一年を具体的に予  
測する」

令和元年

5月18日 水口清一「御世替わり  
以降の日本、世界〜どうなる、  
これからの社会〜」

6月15日 中垣光市「カイロプラ  
クティックの現代(いま)〜PPK

「背骨健康法」  
 7月20日 出口恒「誰も知らなかつた日本史(切紙神示)」  
 9月21日 加藤純一「実体験からみたUFO現象(仮題)」  
 ※以降検討中

九州日本サイ科学会  
 会長 森安 政仁

◎平成30年度事業報告(敬称略)

平成30年  
 10月21日(日) 講師 森安 政仁  
 会場 森安商店  
 11月18日(日) 講師 森安 政仁  
 会場 森安商店  
 平成31年  
 1月27日(日) 新年会  
 会場 大判

◎令和元年度事業計画(敬称略)

令和元年  
 5月19日(日) 会場 オリエンタルホテル福岡  
 小林 信正「天運に導かれる! ひらめきを受けるには」  
 寺山心一翁「意識の受容と健康の関係」

7月、11月に講演会を予定。

「平成30年度決算報告」

収入			
項目	予算	項目	決算
会費	1,700,000	会費(正)	1,284,000
例会	300,000	会費(学生)	126,000
寄付	300,000	会費(準)	237,500
本・他	100,000	会費(維持)	60,000
繰越金	834,044	会費(賛助)	0
合計	3,234,044	入会費	40,000
		例会収入	480,000
		本会寄付	732,000
		本・他	137,190
		広告料	0
		借り入れ返納	-250,000
		前年度繰越金	834,044
		合計	3,680,734

支出		
項目	予算	決算
ジャーナル発行	600,000	577,600
会誌発行	300,000	325,000
人件費	880,000	905,000
例会会場費	150,000	158,445
講師謝礼	150,000	128,000
事務用品	120,000	111,633
郵送・配送料	50,000	47,722
通信費	40,000	42,077
会議・打合せ	60,000	66,460
交通費	10,000	30,000
事務所維持費	140,000	155,590
郵便・銀行振込料	1,000	2,160
予備(予稿集印刷代)	100,000	86,760
来期繰越金	633,044	1,044,287
合計	3,234,044	3,680,734

「令和元年度予算」

収入		支出	
項目	金額	項目	金額
会費	1,700,000	ジャーナル発行	600,000
例会	400,000	会誌発行	300,000
寄付	400,000	人件費	920,000
本・他	100,000	例会会場費	150,000
繰越金	1,044,287	講師謝礼	120,000
合計	3,644,287	事務用品	120,000
		郵送・配送料	50,000
		通信費	40,000
		会議・打合せ	60,000
		交通費	10,000
		事務所維持費	150,000
		郵便・銀行振込料	2,000
		予備	100,000
		来期繰越金	1,022,287
		合計	3,644,287

●令和元年度日本サイ科学会役員構成(\*印は新任または改選)

名誉会員 品川 次郎  
 名誉会長 佐々木 茂美  
 会長 浪平 博人  
 理事長 久保田 昌治  
 副理事長 小林 信正  
 顧問 品川 次郎

地方会長兼理事

関西日本サイ科学会名誉会長

河野 明夫

東北日本サイ科学会会長  
 佐佐木 康二

中部日本サイ科学会会長  
 眞野 博英

北陸日本サイ科学会会長  
 佐藤 禎花

関西サイ科学会会長、副理事長  
 和田 高幸

九州日本サイ科学会会長  
 森安 政仁

理事(常任理事を含む)  
 阿久津 淳、石川 允朗、

大木 高伸、小林 泰樹\*、

小牧 昭一郎、志賀 一雅\*、

徳永康夫\*、中島 敏樹\*、

鯨江 勇\*、橋本 和哉、

本間 修二、前田 知則、

苗 鉄軍\*、渡辺 宙明\*

幹事 小澤 佳彦、小久保 孝行\*

評議員  
 占部 浩一、瓜生 昌代司\*、

鴨川 裕司\*、川村 隆夫\*、

小林 隆文\*、佐藤 ひろ子\*、

谷口 五月\*、飛田 洋子、

三浦 良江\*、

監事 和田 守央\*

## ◎基幹研究賞表彰

基幹研究賞

大阪府 橋本和哉殿

本会は定款細則第十八条により総会の議を経て、貴下の研究活動に対し基幹研究賞を贈り、感謝の意を表します

令和元年6月9日

日本サイ科学会会長 浪平博人

題目「心霊・現代医学、統合手法のサイ科学への導入」  
医学にサイ（心霊）科学の手法を導入して新治療法を開拓した



## ◎功労賞表彰

功労賞

小久保孝行殿

あなたは日本サイ科学会会員（日本サイ科学会幹事）として、永年にわたり、研究と啓蒙活動にご尽力されました。本学会の輝かしい発展はあなたのご努力におう所が大であります。よって日本サイ科学会功労賞を贈り表彰し感謝致します

令和元年6月9日

日本サイ科学会会長 浪平博人



## 平成30年7月本部例会報告Ⅰ

天界に帰還した中村天風先生が今の日本人に伝えたいこと

講師

清水 浦安氏  
愛宕 なみ氏

◎愛宕なみ氏プロフィール  
Good Match Relationship by Nami Atago Agent代表。NPO法人ワンドロップ・プロジェクト代表理事、  
『One Drop Magazine』編集長。清水浦安氏のセミナー、著作などをプロデュースする他、良縁塾を通して、人の意識の向上に取り組み、神性復古運動を軸に活動中。自身の経験を活かし、カウンセリングも行っている。またNPO法人ワンドロップ・プロジェクトを立ち上げ、月刊誌『One Drop Magazine』の発行、ワンドロップ聖歌隊やイベントの運営など、多くの人の覚醒のため、さまざまな活動を繰り広げている。

## ◎愛宕なみ氏御講演内容

※前半で清水浦安氏のこれまでの

経歴について、ご紹介がありました。

清水浦安氏は、ほっかほっか弁当を始めとして種々の食品のフランチャイズチェーンを経営していた経営者の時代から、いろいろ苦しい時期に中村天風先生を中心に種々の霊的な指導を受けて、平成15年全ての事業を清算されました。その後「ワンドロップ・プロジェクト」の活動に至るエピソードと経緯をご紹介いただきました。

清水さんは中村天風先生からこれからは「正しい霊育」の塾を始めるように指導を受けます。その頃私は、編集の仕事や営業・販売の仕事をしており、また九星気学や算命学を学んでおりました。そのときの算命学の師匠が清水さんと同じ合いになり、私に紹介いただいたのが運の尽きでした(笑)。そこから清水さんのお手伝いをする事になりました。東京駅近くの一等地に事務所を借りられることになり、平成20年3月から清水さんと2人で「Good Match Relationship by Nami Atago Agent」として、活動を始めました。最初のうちはどこにも出てはい

けません、ということでも事務所の中で、「ご縁のあった方の霊的なカウンセリングや、霊育塾を2人でやっている時期が続きました。経済的には苦しい時期が続きました。『今月辞めよう、今月辞めよう』と何度も思いました。ところが、奇跡的に救われる事態が何回も起こり、私も霊的な声が聞こえるようになり、ここまで続けることができました。



最初に2人で本を出版したときに「ワンドロップ・プロジェクト」という名前が生まれ、2013年から活動を始めました。その後、中村天風先生から霊的指導が替わる旨、ご連絡があり、倭姫命（やまとひめのみこと…伊勢神宮を創建）からご指導を受けるようにな

りました。

その指導の最初に「EJ 私とは何を指すのでしょうか？」を問われます。世の中の多くの人々は、心 (Mind) — 肉体 (Physical body) の心が「私」と思っています。そして、亡くなると霊になると思っておりません。



しかし、中村天風先生や倭姫命様は、「そうじゃないんだ、もともとと霊魂（たましい）が本当の自分であって、この霊魂から来るいろいろな情報をキャッチする受け皿が心なんだ。心はそれを肉体に伝達していく」と伝えられます。

中村天風先生は生前、「心と肉体は霊魂の要具なんだ」とおっしゃっています。倭姫命様は「神社の社は人間の構造を模して創っているんだ」とおっしゃっています。

一番下の肉体が、拜殿・神社のお賽銭をあげる場所にあたり、真ん中の心は、神社の正式な参拝をする中殿にあたり、一番上の霊魂は神社の奥殿にあたります。

毎日毎日、神主さんは中殿で奥から神様を神籬（ひもろぎ）にかかってもらって、御神事をしています。これが象徴するように、本来は、霊魂と心が本当は一体となつて生きる、それが人間の本来の在り方なんだ、ということを天風先生も倭姫命様もおっしゃっています。

神道でいうところの「神ながら（かなながら）」というのは、「霊魂と心が一体となつて生きる」とことをいいます。「本来、霊魂と心が一体となつて肉体を使って、この地上世界を私達は創っていく、そのために私達は地上に下りてきたのだ、それを今思い出す時代にきているのだ」ということを天風先生も倭姫命様もすごく篤く伝えておられます。それを私達は今、「ワンドロップ・プロジェクト」として活動しております。

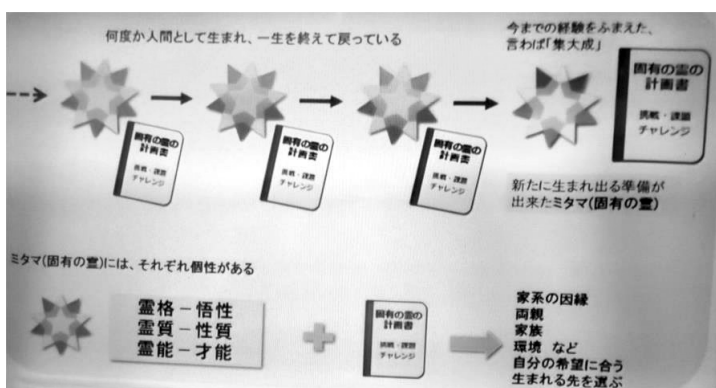
それはどういうものなのかと申しますと、神道では「一霊四魂」というような考え方がありますが、

今回この3つから成り立っているというふうにお伝えするように言われております。



コン（魂）とミタマ（固有の霊）とワンドロップ（宇宙霊の分け御霊）わけみたま）です。コン（魂）というのは、霊魂（たましい）の台座とか保護膜になるものです。ミタマ（固有の霊）は私達の個性になるものです。ミタマは何度も何度も地上に下りてきて、この肉体という着ぐるみの中に入って、いろいろな経験をします。この肉体





今回この地上に下りるときに、

は耐用年数が決まっております。5年の人もいれば20年の人もいます。80年の人もいれば120年の人もいます。肉体は終わりがありますが、ミタマはずっと旅を続けています。ミタマに死はありません。そしてこの地上に下りるときに、「固有の霊の計画書」というのを私達はもってきます。

どんなことを経験して、どのよう感じる事によって、こういうふうになるという理想型を描いてきます。地上に下りてきたときに出来たこと、出来ないことがあっても肉体は降りて帰らなければいけない、そして肉体を降りて帰って、インターバルがあつて、また生まれてくるときに、さあじやあ前回は出来たこと、出来なかつたことを踏まえて、新しい計画書を書いて下りてくる。そうやって私達は下りてきて、今回ここにいる皆様方も私達も全員、今までの集大成として、じゃあこの時期に何をなして帰るか、どのような成長を遂げて帰るのかということとを誓って下りてきた仲間です。私達は今このエキサイティングな時代に、そしてもう、この時代を変えていかなければいけない、このタイミングに私達は何をなささんが為に下りてきたのか、それをおし出す時代が来ております。私達がこの地上に何度も何度も下りてきている間に、備わるものがあると中村天風先生も倭姫命様も言ってきています。

それは霊格、霊質、霊能です。

まず霊格というのは悟性とと言われるものです。この悟性と言われるものは、よくお釈迦様は大悟したとおっしゃっています。この大悟したお釈迦様もおりますが、私達は小さな気づきという悟りを、毎日毎日日本当に薄い紙を重ねるように積み重ねています。この悟性は一日で出来るものではありません。何度も何度も地上に下りてきている間に、「そうか！そうか！そうか！」と言つて、積み重ねてきたものです。

次に霊質は性質のことです。そして霊能というのは、教えてないけれど何故かこのことは分かってしまう、出来てしまう、これが霊能というものです。これは何度も地上に下りてきている間に備わつた。そして私達の個性と今回もつてきた「固有の霊の計画書」、この2つを携えて、私達はここに生まれたら一番花開くのか？輝かすことが出来るのか？

まず家系を選んで生まれるといえます。そして、両親、兄弟を選んで生まれてくる。よく私達は「産んでくれなんて頼んだ覚えはない」というような声を聞きますが、そうではありません。私達はその家

系を望んで生まれてきています。例えば、戦国時代に沢山人を殺さなければいけない家系があつた。そこで多くの人に恨まれた、そんな家系もあるかもしれません。ですけれどもそんな家系を敢えて選んでくるミタマ(固有の霊)もあるということなんです。それは何故かというところ、そういうところに生まれた方が、自分の霊魂の成長が目覚ましくできるから、そういうところに敢えて生まれたたい。皆私達はチャレンジのために、その家系を選んで生まれてくると言われています。

「固有の霊の計画書」は私だけの問題ではなく、父や母も「固有の霊の計画書」をもっています。家族というものが、社会の一番最初の単位と言われております。この家族という中にもその計画書は絡み合っております。例えば私が5歳で亡くなる子供だったとする、お父さんは5歳で亡くす子供をもつという計画書をもつてくる、お母さんも5歳という可愛い盛りで自分のお腹を痛めて産んだ本当に分身のような子供を亡くす、そういった計画書を持ち合わせて、それを経験する、そのような私達は

成り立ちとしてここに生まれてきているんだというふうに言っています。

そして私達のプロジェクトの名前になっています、ワンドロップ（宇宙霊の分け御霊）は中村天風先生も生前ずっと言っていたことなのよ、と言う方も多いと思いますが、敢えてここで説明をさせていただきます。（続く）



#### 第四三六回関西日本サイ 科学会研究集会報告

量子世界のもつと奥「内なる根源」へのアプローチ  
古代の叡智「カタカムナ」と  
縄文遺物が示す「創造の根本原理」とその活用法

講師 呉清恵（アマナ）氏

とき…平成31年3月16日

ところ…阿倍野市民学習センター

日本では、「三人寄れば文殊の知恵」「三つ子の魂百まで」「三度目の正直」などという諺があるように、「三」という数字が使われる場合が多くあります。そこに何

ら深い意味があるとも思わず、当たり前に使っている言葉ですが、縄文時代、特に縄文中期の中部長原で開花した勝坂文化（紀元前3300-2800年頃）では、「三」を聖数として扱い、そこに特別な世界観を込めていたことが様々な事例からうかがわれます。

更に、日本神話の基礎構造は、三神が一組をなし、その内真ん中

の神は何も神話的活動をしない「無為の中心」であると指摘する議論も存在します（河合隼雄、大林太良）。

また、「三」の意味に関して、老子道徳教、第42章の冒頭に、「道が一を生み出し、一が二を生み出し、二が三を生み出し、三が万物を生み出す…」という一節にあるように、古代の老子思想には、「三が万物の創造に関わる」という考えが表されています。

※本講演は、「カタカムナ潜象物理」というものの理解を応用した内容になっていますので、まず、簡単に言葉の説明を行っておきたいと思えます。

「カタカムナ」とは、一万二千年以上前に、アジアの地で非常に高度な直観文明を築いていたと考えられる人々が、現象の背後には必ず、不可視の潜在のチカラが内在し、万物万象は潜在のチカラ（カム）から発生することを直観し、そのサトリを一言で表現した言葉です。

「カタカムナ文献」とは、非常

に高度な抽象文字から作られた80個の渦巻き図象のことを言います。それは、1949年に、檜崎阜月（ならざき こうげつ）という電気物理学者が、平十字（ひらとうじ）と名乗る人と出会い、平氏によって見せられた巻物、祖先から受け継がれてきた御神体であると言われていた巻物に描かれていたものを、檜崎氏が書き写したものを指します。

檜崎氏は、「カタカムナ文献」との出会いの後、長年の研究の末、48の音声符と図象符の解読に成功し、その研究は後継者に引き継がれて、80個の渦巻きを理解に成功しました。80個の渦巻きは、あらゆるイノチやモノが、不可視の潜在レベルから如何に現象化するのかという、イノチの法則、つまり、「生命と宇宙の物理」についてのカタカムナの人達のサトリを表したものであるということ。カタカムナ文献」が80首のウタを通して伝えている生命と宇宙の物理についてのサトリを、「カタカムナ潜象物理」と呼んでいます。

本講演では、例えば、なぜ老子

が「対極が万物を生み出す」と言わず、「三が万物を生み出す」と言ったのか、「文殊の知恵が湧き出るのは、なぜ、4人でも5人でもなく、3人集まった時なのか」という、そのメカニズムを説明しています。つまり、「万物の創造における『三』の意味は何なのか」ということです。

そのことを理解するために、まず、縄文時代の出産土器と呼ばれる縄文土器の文様の構造の意味について、歴史的比較構造学という独自の方法に基づいた分析によって解釈し、仮説として提示しています。そして、その仮説と、「カタカムナ文献」と呼ばれる抽象文字から作られた80個の渦巻き解読を基にした「ミソデホト」のサトリが示す構造を比較し、「三の構造」が意味することについての理解を、お話ししました。

その要点はおおよそ以下のような内容です。

1. 万物の生成の最小単位は、正四面体で表される「三の構造」で、そのサイズは、10のマイナス33乗以下のレベルであること。

2. 潜象世界から現象世界に粒子

が発生する際のその構造、つまり、「無から有が生まれる構造」は、非常にマイクロのレベルから人体のエネルギー場、その他のものに至るまで、相似する。

3. 三単位がまとまる際には、必ず、背後に、宇宙根源のカムのチカラが寄り添っていること。



ところで、カタカムナ潜象物理では、宇宙根源のカムのチカラの凝集を「アマナ」と呼びます。「アマナ」は、宇宙根源の神の「外神」との対比でいうと、「内神」として捉えられています。「アマナ」は原子核であり、人の神我であり、どんな人にも、どんなものにも、カムの凝集である不可視の神が存在しているということです。

そして、この「アマナ」の波動は、

「ゼロポイント場」であり、「空」と言われる意識波動そのものなので、す。

講演では、「三の構造」を応用として、この「ゼロポイント場」の波動とつながる方法をお伝えし、誘導しました。

本講演は、要するに、創造のメカニズムの理解と、「内なる根源（アマナ）」の存在の役割についての理解を元にした世界観が、日本やアジア古層に流れているということ、そして、そのメカニズム（構造）の内容と共に、その応用として、「内なる根源（アマナ）」とつながる方法をお伝えするものでした。

「内なる根源（アマナ）」のスペースは、意識による癒しや夢実現を可能にするスペース、言い換えれば、【無から有を生み出す】意識波動の領域です。

地球規模で大きな変化の時期にある現代、私たち一人一人の内には、このチカラの根源が存在することを再認識すること、そして、その原理を活用していくことは、非常に重要なことであると思っています。

歴史的に組織宗教では、チカラ

の源は外なる神にのみあると教えられてきて、個々人のチカラの根源の存在や、それへのアクセスの方法は、語られることなく来たように思われます。語られても、一部の神秘家や聖人、或いは、俗世界と隔絶した長年の修行によってのみ初めて到達できる秘儀的なものとして扱われ、私たち「普通の生活人」が到達できるものではないかのように扱われてきました。しかし、「カタカムナ」の潜象物理の理解に基づくとは、思うほど難しいものではなく、原理さえ理解して、簡単な実践を重ねれば、人間であれば誰でもアクセス可能なものだと分かるのです。

カタカムナ潜象物理が解く「ミソデホト」の原理は、本当の自分軸から生きること、【内なる根源】とのつながりを回復するということだけにとどまらず、次の世界を創造するための基礎を構築する上で、様々な形で応用可能な原理を提示していると思っています。

この講演で提供したささやかな知識が、より良い世界を創造する為の一助となることを願っています。

いまは、心が科学的に不明なので、ESPやPKを科学的に説明する事は出来ません。また、人工知能(AI)に「精神」等の人の心(意識など)を加える為には、サイ(気)科学の研究が必要であると思います。

## 2) オーブ(たまゆら)は心の鏡

オーブに意識要素(PSI-spin対)が混入されたものを「たまゆら」と呼ぶことにします。変性意識状態(ASC)付近で行う意念(念の集中)と、体外にあるオーブ(たまゆら)とが同調(共振、共鳴)して、「たまゆら」の円内模様(表情)が決まる事になると考えております。非対称の干涉縞模様やマンダラ状模様などで、オーブ(たまゆら)のユラギであり、解析すると、カオス・アトラクターであることが判ります。

体外の空間にあるオーブ(たまゆら)は、大気イオン(H<sup>+</sup>、OH<sup>-</sup>)、大気プラズマ(+、-)陰陽のPSI-spin対等(それぞれは独立した発光体)

からなる光子群の集合体等であり、近赤外線領域に潜在しているので、肉眼では見えません。しかし廉価なCCDカメラでフラッシュ撮影すると、円形物質として写されてきます。

心は、素粒子類似であり、とらえどころが無いので、心の自由度を制限して、脳波(脳)を、物に近づける事が要求されます。つまり、撮影者は、脳波を7~8Hz付近にまで下げる。そして、写れ——と意念(念の集中)いたします。

その時、撮影者から放射されるPSI-spin対と体外に有るオーブ(たまゆら)のPSI-spin対が同調(共振、共鳴)して、両者につながり(同一の円内模様が形成され)写真として写されてくるものと考えます、と言う理由で、オーブ(たまゆら)の円内模様(表情)は、撮影者の心の状態を表示している、と判断する事が出来ます。つまり、オーブ(たまゆら)は「鏡」であり、撮影者のその時の、心を表示していると判断しております。

講演の内容はおよそ以下のよう  
なものです。

1. アジア、とりわけ日本の文化の基底に存在し続ける「三の構造」の叡智・縄文文化にみられる「三の構造」とその意味
2. カタカムナ潜在物理における「創造の根本原理」…「三の構造」という「抽象的な構造」の意味
3. 【内なる根源(アマナ)】と【三】が意味すること
4. 【内なる根源(アマナ)】とつながる方法とその活用法
5. 実践的誘導

◎呉清恵(アマナ)氏のプロフィール

大阪市立大学経済学研究科修士、同大学院博士課程満期修了、統合学博士(カリフォルニア統合学研究所)。現在大阪経済法科大学アジア研究所客員研究員。

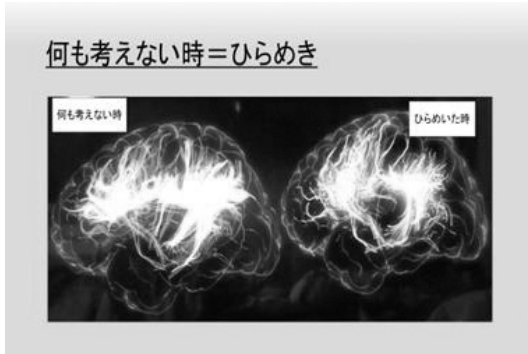
チエルノブイリ原発事故で衝撃を受け、3~4世代先の子供達に遺せるものを求める中で、「カタカムナ文獻」に出会う。その後カリフォルニアに家族と移り住み、ネイティブアメリカンの精神性とシヤーマニズムを学び、瞑想や多次元エネルギーワークを実践しつつ、

1994年より、「カタカムナカミ」との約束を守るために博士課程に在籍して研究を行う一方、1997年以降、個人やグループにセッションを行う。

現在、日本に活動拠点を置きつつ、カリフォルニアでもクラスを定期的に開催している。個々人が自分の「内なる根源」に繋がって深いレベルのトラウマを解放して真に自由になり、多様な個人が互いを認め合い、活かし合える社会を求めて、セッションやクラスを提供している。  
HP: <http://lumina-creation.com>

主著: "Cosmogonical Worldview of Jomon Pottery: Comparative Structural and Historical Study of Pottery Decorations from the Katsusaka Culture in the Chubu Highlands, Japan (CA. 3,300-2,900 BCE)". Sankishu, 2011. (『縄文土器の生命創造の世界観: 中部高原勝坂文化 (CA. 3,300-2,900) の土器文様の歴史的比較構造分析研究』) 近著: 『潜在のサイエンスで解く縄文・カタカムナ・レイキ』ヒカルランド、2018年。

主に活動していますが、瞑想のときの脳は自発的な意志行動が減退し、無意識の状態では、後頭葉の視覚野にイメージとして現われるのです。



\*資料：NHK特集「ひらめき」より

「間脳」は「視床」と「視床下部」の働きに関係し、何も考えない「ボーっと」した時、特にひらめきを受けるといわれています。

しかし常識にとらわれた頑な性格の人は心にブロックが強く働き、感受性が鈍化する傾向がみられます。

#### 〇おわりに

昔から動物や鳥類、魚類などは本能的に予知能力を持っていて、地震や津波などを事前に起

きる兆候を察知することができると言われていいます。犬は臭覚が人間の百万倍以上の能力があり入国の際に麻薬の察知に使用していますが、イギリスでは癲癇の発作を事前に察知する犬の訓練をしています。イルカは自閉症の児童を察知して戯れるとか、いわばESP能力は鳥獣魚類でも生得的に備わっていると思われま

一流の経営者は時代を先取りする先見の明が優れ、天才的芸術家や科学者たちも独創的「ひらめき」を受けて、世の中に偉大な貢献をしています。

しかし、ひらめきは天才たちの特権のみならず、人は誰でも分相応のひらめきを受けることがあります。例えば、先祖霊などのいわゆる個人の守護霊からのアドバイスが発信され、ひらめきとして感受され、運命を好転できたという実話も多く聞かれます。

先行き不透明な現代、人間の知能に代わるAI(人工知能)による新興技術革新が話題になっていますが、AIが進化したとしても、天啓から発する「ひらめき」を捉えることは困難なことと思われま

むしろ私たちが今求められているのは、人間の感性「ひらめきの力」なのではないのでしょうか。

## 「オーブ(たまゆら)」研究の意味合い

佐々木 茂美

### 1) 心の科学研究の必要性

人工知能(AI)が造る「心」の研究をさらに進めるためには、人の心(意識)の科学的な研究が必要であると思います。コンピューターが造るAIの心は「物」ですが、人の心には「精神や魂」と言われる性質があり、「質」が異なります。つまり、物には再現性や因果律などの法則があ

りますが、心にはそれらが無く、不確定であり、量子力学の素粒子と類似した性質をもっています。つまり、形而上学と形而下学と言われる様に、両者は別であります。しかし、異質な心と物の両者の性質を兼ね備えるものにサイ科学としてのESP(超感覚)やPK(念力)があります。これは、誠に不思議な事です。

## ⑧夢見のとき

夢見からめざめるとき、優れた創造性のヒントが得られたという話は多々あります。めざめのボンヤリとした状態こそ、インスピレーションの感受性が高まります。

## ⑨信念のとき

「直観を信じる」には、不純な損得勘定を持たず、常に純粹で人類のために役立つ博愛精神を持っていることが望まれます。

## ⑩祈りのとき

自己本位の祈りでなく、世のため人のために平安を祈るような次元の高い祈りは、天界に通じます。

## ○インスピレーションの源泉は？

宇宙創造主とは人智を超えた畏敬な存在を指し「サムシング・グレート」とか「偉大な何もの」とか呼んでいるのは目に見えない大きな存在で、天啓、神や仏、祖霊、背後霊などと同様な言い方で呼ばれています。

これらのインスピレーションの源泉は、ひらめきを受け取る側の人の心境とか、能力のレベルの高低によって発信源と同調され違いができるものと考えます。

インスピレーションが発せられるエネルギーは波動となり、あたかもテレビのチャンネルのように受信側がその波動と同調するとき、ひらめきを受けるのです。

発信源の高低のレベルというのは、天界の高次元から幽界の低次元まで様々あり、その受信側の人の能力と心境のレベルにおいて同調したとき、各々のひらめきを感受するものと考えています。

目標の達成に向かって努力集中している際に、天啓からのひらめきを受け、創造、発見、発明などのヒントが感受するものです。

天界には宇宙意識ともいべき叡智の宝庫があるとされ、この源から発信されるインスピレーションがひらめくことが可能ならば、先見

の明のみならず、物事の本質を見通す予知能力や創造力が発揮されることでしょう。ただ受手側の感性のレベルが低い場合には、高次元の波動が発信されても、受けることも理解することもできません。

## ○脳とひらめきの関係は？

脳には「脳幹」（間脳～中脳～橋～延髄）という「生命」を維持するための重要なところがあります。ここは直観のひらめきの脳とも言われているところです。

脳の頭蓋の外から近赤外線を照射し神経細胞が集中している大脳皮質内の活動状態を測定できる機器「光トポグラフィ」を駆使し、顕在意識から変性意識状態に移行する大脳内の血流を観測しました。

実験での被験者は主に瞑想者、特異能力者（霊能力者、透視者、霊媒）等です。

催眠誘導により脳内活動を測定し、前頭前野の意識状態と後頭葉の視覚野におけるイメージとの関連性を比較計測しました。



計測結果、(上図) ひらめきの際の血流変化は、顕在意識から変性意識状態に至ると、視覚野にイメージの活性化が顕著に表れ感受性の高まりが測定できました。

ひらめきを受ける時は、いわば通常の意識（顕在意識）より変性意識状態（トランス状態）に反応します。覚醒している時の脳の活動は、意思や論理的判断をする領域である前頭葉が

救われた実話も多々あります。

### ○インスピレーションの感受性は？

変性意識状態とは、「通常の、日常意識以外のさまざまな意識状態を指した総称」と定義されていますが、人の意識が変性意識状態（トランス）になるとき、被暗示性が高まり常識という意識の壁から開放され、意識の拡大により異次元からのインスピレーションが心の防御なしにひらめきとして素直に感受されます。

いわゆる意識が内外から勘や直感、直観、インスピレーション、靈感、啓示、悟りなど、ひらめきとして感受性が高まる状態になるとされています。

夢見のとき、白昼夢、催眠状態、瞑想、精神統一、座禅、読経、荒行、ヨーガとか、幻覚剤などによる意識状態のとき、脳にひらめきが起きます。

また心に響く音楽、絵画、彫刻などや映画、舞台鑑賞での歓喜に満ちた体験、フィードバック等によって引き起こされる意識状態のとき、また飲酒の酩酊状態、スポーツ競技中、ランナーズハイ、試験に合格して有頂天のとき、カラオケで夢中になっているときなどでも変性意識状態になります。シャーマンにおけるトランス状態でも神秘体験やサイケデリックスに誘発されて霊的イメージが湧くようになります。

### ○ひらめきを感じるには？

#### ①自然とのふれあい

大自然の息吹や心地よい自然の揺らぎ、梢のざわめき、川のせせらぎ、鳥や虫の声、花々の香りやそよ吹く風などは「1/fゆらぎ」といい、脳波をアルファへと誘い、人々の心身をリラックスさせる効果があります。自然には音や香りや安らぎのリズムが満ちて人々の心を和ませ、癒しへと誘います。

#### ②聖なる地

人間は聖なる地に佇んでいると、心身が清められます。古代から人々は自然の、山、海、森

林、巨石、岩石や太陽、月、星、雨、風、雷など自然現象に神格化した神が宿っていると感じられて、自然を崇拜してきました。

これが「アニミズム」と呼ばれた原初的な自然崇拜を対象とした所以です。

#### ③瞑想のとき

瞑想により思考や感情など心の既成概念のブロックが外れ、内的に意識を向けると心が鎮まり、雑念が消え、脳が安らぎの状態となりインスピレーションを受けやすくなります。

古くから修行として座禅、瞑想、精神統一が行われ神人合一の訳が領けます。

#### ④入浴のとき

湯に浸かると末梢血管が拡張し血液循環が良くなります。特に温泉浴は心身の代謝を促し、副交感神経が優位となり、神経を鎮静化させる効果があります。あたたかも白昼夢のような無我ともなり感受性が高まってきます。

#### ⑤散歩のとき

散歩は全身の血液の循環を促し、脳をリラックスさせる効果があります。天才たちの多くは、散歩を好んでいました。散歩はインスピレーションの感受性を磨くものとも考えられています。

#### ⑥「イヤシロチ」

大地の電流状態を研究した檜崎博士は、人体や植物の生育に良い土地を「イヤシロチ」、逆に悪い土地を「ケガレチ」と呼び、生命力を活性化させる地と生気を吸い取る地があることを解明しました。「イヤシロチ」に住むと感性が豊かになるとも言われています。

#### ⑦無我夢中のとき

何事においても真剣に集中して無我夢中になっているときには時間的観念が無くなり意識が無の状態となり、その刹那「ひらめき」を感じることが多いと考えます。



〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 日本サイ科学会発行  
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp  
公式サイト <http://psi-science.sakura.ne.jp> ML申し込み先 office21@psij.mail-box.ne.jp

## ひらめきの感受性について

小林 信正

はじめに

超感覚的知覚(Extrasensory perception)ESP、という超能力の一種に“第六感”というものがあります。いわゆる五感を超えた勘、直感、直観、インスピレーション、靈感、虫の知らせ、また宗教上の悟り、以心伝心、啓示などの精神感応、つまり物事の本質を掴む心の働きのことを指しています。

第六感の感受性は文明社会に生きる私たちより、むしろ古代人の方が過酷な自然の脅威や猛獣からの生命の危機に対峙して生き抜くために、本能的に感覚の鋭敏性が備わったのではないかと推察されます。

今日私たちは論理的判断や推論などの思考が重視され、ESP能力などは退化しているように思われます。

人工知能(AI)時代と叫ばれている昨今、むしろ私たちはAIの特性にはない“ひらめき”の感受性を日々の生活に活かし、先見の明や創造性に磨きをかけることが望まれます。

偉大な足跡を残した芸術家たちの創造力や天才といわれる科学者たちの発見や発明の多くは、“ひらめき”によるものと言っても過言ではありません。そのひらめきの発生源はどこから来るのか、ひらめきの感受性を高めるにはどうしたらよいか、その受信機能である脳の働きについても考察してみたいと思います。

○第六感について?

・勘とは?: 長年の経験から潜在意識に蓄積された心の働き。

・直感とは?: 論理的思考によらず、感覚的にモノの真相を感じとる働き。

・直観とは?: 経験、知識などの推論や考察によらず、意識しなくとも感覚によって瞬時に全体の本質をとらえ、正しいと認識するもので、天啓・神仏・祖霊など、啓示、霊示によるひらめき。

・インスピレーションとは?: 一瞬のひらめきによって、発明、発見及び創作活動につながるヒントが外界から導き出される独創的なもので直観と同意義。

・靈感とは?: 霊界からの霊妙な心の働き。また神や仏が乗り移ったようになる人間の超自然的な感覚。直観やインスピレーションと同意義ですが、やや信仰的な意味合いがある。

・虫の知らせとは?: 体内に棲む虫が不吉な予知、予感を感じさせるとの故事。

○インスピレーションのひらめきとは?

詩人、作家、画家、音楽家などの芸術的創造性のみならず、物理、化学など科学的発見や発明した天才といわれる人たちの業績をみると、多くはインスピレーションによるひらめきを受けて達成されています。

一般人でも日常生活においても、一瞬のひらめきによって、運命をも左右する霊妙な予感で